



特定技能外国人向け研修会
NIPPOから

NIPPOと東亜道路工

業、佐藤渡辺はフィリピンから受け入れた特定技能外国人13人を対象に、2月13～20日にさいたま市西区のNIPPO技術研究所で合同研修会を開いた。写真（NIPPO提供）。日本の労働環境や文化に適應するための基本的な知識を習得してもらうため、生活様式や現場で用いる日本語を説明。現場の安全ルールに関する研修も実施し、タイヤローラーやバックホウを用いた死角体験学習も行った。

各社の受け入れ人数はNIPPO7人、東亜道路工業4人、佐藤渡辺2人。

外国人技能者受け入れ

NIPPOら3社



KY演習の発表

NIPPO、東亜道路工業、佐藤渡辺は、特定技能制度を活用したフィリピン国籍の外国人技能労働者13人を受け入れている。2月13―20日に、さいたま市のNIPPO技術研

究所で導入研修を実施した。日本の労働環境や分野に適用するための基本的な知識の習得を目的に、日本の生活様式や現場で使う日本語について研修した。現場の安全ルールに関して研修では、タイヤローラーとバックホウを使った死角体験学習を実施。各社に分かれて工事現場の見学や安全に関する研修も行った。

受け入れ人数の内訳は、NIPPOが7人、東亜道路工業が4人、佐藤渡辺が2人。

3社は今後、外国人技能労働者のモチベーション向上や、仕事と生活に対するフォローアップとして、定期的に講習会や懇談会を開催する予定だという。日本の現場に適用しやすいよう、サポートしながら人材の確保に努める考えだ。